

2019 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	さかい聴覚障害者防災ネットワーク
活動テーマ	聴覚障害者の地域防災ネットワーク活動



・災害弱者である聴覚障害者に自助の力をつけてもらうため、2019年11月16日に防災・減災学習会を開催した。内容は、避難所シミュレーションという方法で、堺市立健康福祉プラザの体育室を避難所に見立てて、参加者に避難所体験してもらった。グループに分かれて、参加者が自らメジャーで測って一人分のスペースを作り、その床の上で寝てみて、どのような配置なら障害者が過ごせるか、などを体験してもらった。また、西日本豪雨災害時に、いち早くボランティアセンターを立ち上げ、被災地に支援活動を行った「広島県ろうあ連盟」の事務職員を招き、その活動について講演してもらった。講演後に、グループワークとして、各自が行っている「自助」の活動を話しあって、グループ発表も行った。

・防災知識が不十分な聴覚障害者のために、また聴覚障害者を一般の方に理解してもらうことを目的に、「防災・減災マニュアル～災害から聴覚障害者を守るために～」を3千部作成し、聴覚障害者団体、支援者団体、聴覚障害者関係施設、一般の方々等に配布した。マニュアルには、避難時に必要な物のリスト(聴覚障害者には、補聴器とケースや電池、人工内耳、ヘルプマークなどの支援が必要であることを知らせるもの、等が必要)、他には、聴覚障害者との接し方、災害時の支援方法そして簡単な手話単語などを掲載した。

・2019年8月3日に防災バス研修を開催し、奈良市防災センターに行き暴風雨体験、地震体験や煙体験等を行った。また、災害時や避難時に危険な箇所を見て回る「街歩き探検隊」を3回実施し、防災ニュース(機関紙)を2ヶ月に1回発行した。こうした活動を通して、聴覚障害者の防災意識を高めることができ、聴覚障害者に「支援されるだけでなく、自分たちができることは何か？」を考えてもらう良い機会となった。